



目白研心中学校・高等学校

令和7年度 同窓会会報 新版第3号 (通号34号)



撮影協力：目白研心中学校・高等学校 写真部

若い力に 期待と感謝



会長 稲葉 典恵

同窓会の皆様、お元気にされていらっしゃいますか。

ここ数年は新型コロナ感染拡大で行事がなくなったり、縮小されたりしましたが、その困難な時期を乗り越え、やっと思い切り様々な事を満喫できるようになりました。生徒の皆さんもコロナ前の生活が戻り、元気に学園生活を送られています。

3月1日の卒業式では358名の方々が目白研心高等学校を巣立ち、同窓会の一員になりました。本当に嬉しく思います。春を通り過ぎ、まるで初夏のようなお天気の中、とても厳粛で立派な卒業式でした。

迎えた入学式では目白研心の人気も高く、今年はたくさんの生徒が入学され、午前が高等学校、午後が中学校と2回に分けての入学式となりました。この少子化の時代に目白研心がこのように発展されていることは同窓会としてとても誇りに感じます。

また去年は桐陽祭に同窓会としてコーヒーショップを出店しました。過去にも同窓会はバザーやかき氷、綿あめなど出店してきましたが、今回はすべて令和5年度、100周年の年に卒業した若い同窓生が中心となり、ハンドドリップコーヒーの企画や運営をしてくださいました。同窓会としてもこのような形は初めての事で、斬新な事でした。最近若い方々や大学生の方などで起業するという話も多く聞かれますが、今回はショップの内容やいきさつ、当日の人員確保、流れ、

元金、売り上げ見込み、などプレゼンテーションをしていただきました。学校側とも協力体制が整っていて内容もしっかりしていましたので、それならば同窓会として資金提供をして若い方々にのびのびとやっていただきたいと役員間で決定させていただきました。初めての事で1日のみの運営でしたが大好評でした。売り上げはすべて生徒会に寄付させていただきました。

『様々な厳選された豆を丁寧にハンドドリップで、時間を分けて豆の種類を変えて提供する』

というコンセプトも良かったのかと思います。去年の経験を踏まえ、今年もまた同窓会としてハンドドリップコーヒーショップを出店する予定です。

『ハンドレッドコーヒー』という名前には、hand→手、read→導かれた、

100周年 hundred の卒業生が企画した

という意味があるそうです。今年の桐陽祭は皆様ぜひ懐かしい母校に足を運んでみられてはいかがでしょうか？

今回の会報は、土屋とし子同窓会第3代会長とお姉様が同級生で親交があり、姉妹揃って目白学園の卒業生という昭和40年卒業の島村清子さんと、50代で産業カウンセラーの資格をとられたという昭和54年卒業の加田菊美さんのお二人に書いていただいております。共に素晴らしい人生を歩まれております。

また去年、大学は創設30周年、目白大学短期大学部は創設60周年を迎えられました。中学高等学校の100周年に加え、目白学園の発展本当に嬉しくお祝い申し上げます。おめでとうございます。

本年も同窓会は学校と協力し、皆様のお力をお借りしながら進んでまいりたいと思います。

今後ともご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

目白研心中学校・高等学校の さらなる飛躍を期して



学校法人目白学園 理事長 尾崎 春樹

同窓生の皆さまには、変わりなくお過ごしでしょうか。

このご挨拶を用意している前日の五月十四日には、目白研心中学校・高等学校の運動会が代々木第一体育館で行われました。私は、毎年、都合がつく限り見学していますが、今年も午後から観戦することができました。玉入れ競技で赤組のカゴの底が抜けるハプニングもありましたが、例年に劣らず、生徒の皆さんが各種目に全力で取り組む姿から元気を分けてもらいました。

さて、現在、中高生が学ぶ内容は、時代の潮流を反映して、大きく変化しています。とりわけ、主体的、対話的な学びを通して学びの質を深めるため、小中高を通して「探求活動」がカリキュラムの重要な位置を占めています。また、高度情報化社会に対応して、一人一台端末の環境を生かして個別最適な学びや協働的な学びを充実させることが必須となっています。さらに、情報活用能力の育成

のため情報系の科目も充実され、新しい科目を修得した生徒が大学進学をしていった年でもあります。

例年申し上げていることですが、目白研心高校は、近年、教師の皆さんの熱心な指導とそれに応える生徒の努力が実を結び、大学進学実績を著しく向上させてきました。今年の春の各大学への合格者は、国公立大学に8名、早慶上理ICUに16名、GMARCHに59名、日東駒専に115名、医療系大学・学部59名、主要女子大学（津田塾、東京女子、日本女子、学習院女子ほか）81名にのぼるなど、多様な進路の実績をあげてくれました。

このような実績が評価を高める要因になっているのか、中学、高校ともに受験者数、入学者数を伸ばしているところです。そして、近年の理系人材へのニーズの高まりを背景に、さらなる発展を図るため、目白研心の特長とも言われてきた「英語の目白」に加えて「理系でも目白」の実績を挙げるべく、来年度から、高校に難関私大理系への進学を目指すグローバル・サイエンス・コース（GSC）」をスタートさせるために、吉田校長以下プロジェクトチームを結成して検討が進められ、実現のための規則整備も終えたところです。また、中学校でも新しく3年生からアドバンス・コースを新設する予定です。

少子化が進む中、学校を取り巻く環境は厳しいものがありますが、それを跳ね返してさらなる発展を遂げるべく力を尽くしてまいりたいと思います。引き続き、温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

深まる絆に感謝して



校長 吉田 直子

同窓会のみなさま、お元気でいらっしゃいますか。稲葉典恵会長をはじめ、みなさまには日頃より温かいお気持ちで母校を応援していただき、深く感謝申し上げます。

さて、本年度は4月7日に中学校88名、高等学校328名、計416名の新入生を迎え、稲葉会長のご臨席を賜り、入学式を挙行了しました。当日は桜の花咲くキャンパスで、新入生全員が晴れやかに目白研心生としての第一歩を踏み出しました。

現代は、技術革新による加速度的な社会の変化だけでなく、予想を超える速さで進む地球温暖化、相次ぐ自然災害の発生など、これまでの問題解決方法が通用しない予測困難な時代と言われています。そんな時代を生きる若い世代には、未来に対する計り知れない不安があると推察します。しかし、私が生徒たちに伝えていることは大変シンプルです。それは「目白研心での学校生活を大事に過ごしていれば、未来について何も心配することはない」ということです。合言葉は「よそ見せず、目白研心ファーストで!」。生徒たちは私

の言葉をまっすぐに受け止めてくれて、学校内外で澁刺と活躍しています。都大会2年連続ベスト16のサッカー部は、本年度部員数が130人を超えました。またラクロス部は5年連続全国大会出場を果たし、全国第6位の成績を収めました。伝統のチアリーディング部は全国大会で毎年上位入賞を果たしており、強豪校としての名声を保っています。野球部は夏の甲子園予選である東東京大会で昨年はシード校を撃破し注目を浴びましたが、野球以外にも地域の行事にボランティアとして参加し、抜群の機動力とチームワークで高齢化の進む近隣のみなさまのお力になりました。校内では運動会、合唱発表会、桐陽祭の運営を生徒による実行委員会が中心となっており、活気があふれています。

また、近年同窓会と学校との交流が増え、絆が深まっていることを実感しております。昨年度は、創立記念集会で稲葉会長に目白学園の歴史や女子校時代のエピソードなどについてご講演いただきました。桐陽祭では、同窓会コーナーとして若い卒業生たちがコーヒー店を出店し、フェアトレードで輸入したコーヒー豆を挽いて本格的なコーヒーを提供してくれました。会場に芳香が漂い、「専門店にも負けない味」と大好評でした。これからは同窓会のみなさまとの連携を大切にし、より良い学校になるよう、そして同窓会のみなさまに喜んでいただけるニュースをたくさん発信できるよう、在校生・教職員とともに尽力してまいりますので、最強の応援団として見守って下さい。よろしくお願いいたします。

令和7年度総会の開催

同窓会会則第13条により「令和7年度目白研心中学校・高等学校同窓会総会」を紙上総会とさせていただきます。

●令和6年度事業報告

- 4月 令和5年度決算報告書、予算案作成、会計監査。会報原稿依頼
- 4月 8日 入学式に会長参列
- 6月 6日 会報原稿を印刷会社へ入稿
- 6月 会報校正作業
- 6月 24日 会報発行の告知をHPにアップ
- 7月 10日 同窓会会報新版第2号を発送
会報発送の告知をHPにアップ
- 7月 25日 会報を職員室、学校関係者に配布
- 8月 26日 桐陽祭の日程、同窓会模擬店のお知らせをHPにアップ
- 9月 10日 目白大学創設30周年記念の集いに会長出席
- 9月 15日 桐陽祭にコーヒーショップで参加
- 9月 24日 桐陽祭の模様をHPにアップ
- 9月 30日 短期大学校友会60周年記念祝いに
関し、大学と同窓会、学生課と打ち合わせ
- 10月 20日 桐和祭にて短期大学部校友会創設
65周年の記念講演会に会長出席。
同窓会より生花スタンド贈呈
- 10月 21日 短期大学校友会の記念講演会の様
子をHPにアップ
- 11月 1日 桐陽祭の同窓会主催コーヒー
ショップの詳細模様をHPにアップ
- 11月 6日 中学、高等学校の創立記念集会に
て会長記念講演
- 11月 13日 記念集会の模様をHPにアップ
- 12月 8日 定例役員会開催
- 12月 10日 役員会をHPにアップ
- 2月 28日 同窓会入会式

3月 1日 卒業式に会長参列（同窓会より記念品を贈る）

3月 10日 入会式と卒業生新幹事紹介をHPにアップ

その他住所変更、パソコン入力作業、学校との打ち合わせ、など必要に応じて役員意見交換や、活動を行っています

●令和6年度決算報告、監査報告、令和7年度予算案

（同封の別紙をご参照ください）

●令和7年度活動報告

会報発行、HP更新、住所変更作業、桐陽祭参加等、その他学校と協力しながら活動してまいります。

●令和7年度役員は次の通りです

会 長	稲葉 典恵
副会長	中島 亮子
	平井めぐみ
事務局長	大塚千恵子
副事務局長	安島利佳子
事務局	志澤佳奈未
	蔵田 真有
	中島 佑子
	中村 莉久
会 計	中島 亮子（副会長兼任）
	浜口 瞳
監 査	白岩 寛子
	松本 三貴
理 事	伊東 翔太
	石井 大翔
	杉浦 皇汰
	宇佐美遥花
幹 事	小貫 信昭

令和7年度新役員(幹事)

濱野 愛里	井上はるか	木内 寛人	東 輝
蒔田 奈々	森永 裕大	佐々木るちあ	岩井 杏花
岡田 慈恩	穴見 彰悟	稲田 侑斗	峯尾 柚那
粕井 晶	有我 悠翔	大谷 莉久	峯岸 花奈
長沼 珠久	岡田 梨那	阿原 希恵	小林さくら
藤江 恵司	川井 寛瑛	池田 雄貴	中野智治朗



令和7年度卒業生新幹事の皆様

●卒業生新幹事挨拶

粕井 晶

この度、目白研心高等学校同窓会新役員のリーダーになりました。令和六年度(七年卒)元高校3年2組の粕井晶です。

私は、中学校の頃から目白研心に通っていました。ですが、特に高校の3年間は私にとって忘れられないくらい幸せな3年間でした。中学校の頃は人数も少なく、コロナ禍だった為あまり行事もなく我慢の日々でした。しかし、高校に入り大幅に同級生が増え、コロナウイルスが落ち着き、久しぶりに全ての行事を行うことが出来た学年でした。

私は、高校3年間特進クラスに所属し、野球部のマネージャーとして引退する3年生の夏まで活動させて頂きました。朝は朝練のため7時に登校し、放課後は外部の球場を借りるため帰りが10時半になってしまい、思ったように勉強と部活を両立することが出来ない毎日でした。成績は定期テストを受ける度に落ちていき、

部活においても後悔の残る毎日を送っていました。ですが、ある出来事を境に自分の部活、チームに対する気持ちが変わり部活においてたくさんの人に支えられ全力で最後を駆け抜けることが出来ました。

部活を引退し、自分が目を背けていた受験勉強が本格的に始まりました。今まで部活に全力を注いでいた分、周りよりスタートが圧倒的に遅れていました。ですが、共に勉強してくれる仲間がいて、困った時に助けてくれる先生方、辛いなと思った時に声をかけてくれるたくさんの方々に支えられ自分の目標とする進路に進むことが出来ました。

この3年間は、たくさんの方々に支えられ、成長できた3年間だったと強く感じています。これからは、看護師という目標に向かって努力していき、自分もたくさんの人のためになることをしていきたいと思っています。まだまだ、未熟者ですが、精一杯同窓会役員として頑張らせていただきたいと思います。

桐陽祭 2024

今年の桐陽祭は9月14日（土）と15日（日）の2日間にわたり開催されました。

今年のテーマは

『煌～光り輝く未来へと紡ぐ 101 年目の桐陽祭～』

「101 年目の新たな出発、キラキラと光り輝く」というテーマのとおり学校全体が盛り上がり、生徒の皆さまが元気よく私たちを迎えてくれました。

当日までに、様々な展示やパフォーマンスの準備をしてこられた皆さまの、努力の結晶が伝わってきました。

2 日目の 15 日には、昨年度の卒業生が中心となって同窓会主催のコーヒーショップを出店しました。

この日のために、スタッフはハンドドリップでのコーヒーの淹れ方を猛練習しました！

当日はとてもスムーズにコーヒーを提供していて「時間帯によって使用するコーヒー豆を変える」という工夫もしました。

桐陽祭当日は、たくさんの同窓生にもお越しいただきました。

40 年ぶりに学校を訪れたという先輩は、立派に建て替えられた校舎に大変驚かれ、感激されていました。

もちろん、コーヒーも飲んでいただき「とてもおいしい！」との感想をいただきました。

同窓会コーヒーショップは2 日目のみの開店でしたが、大好評につき、用意したコーヒーはそれぞれの時間帯ですべて完売しました。

なお、売上金はすべて生徒会に寄付させていただきました。

皆さま、本当にありがとうございました。



2024年9月15日(日) 桐陽祭にて同窓会によるコーヒースタンド 「Hand-led Coffee」を開店しました！



※同窓会 HP に掲載されている記事です。ページの都合上、本文と写真の位置に多少のずれがあります。

久しぶりに桐陽祭に参加させていただいた同窓会。

今回の企画は、コーヒー愛好家でいらっしゃる長谷先生と2024年3月に卒業された同窓生の有志にお集まりいただき、実現した企画です。

(以下、お店の紹介文を参照)

「Hand-led Coffee」という素敵な店名には、2つの意味が込められていました。

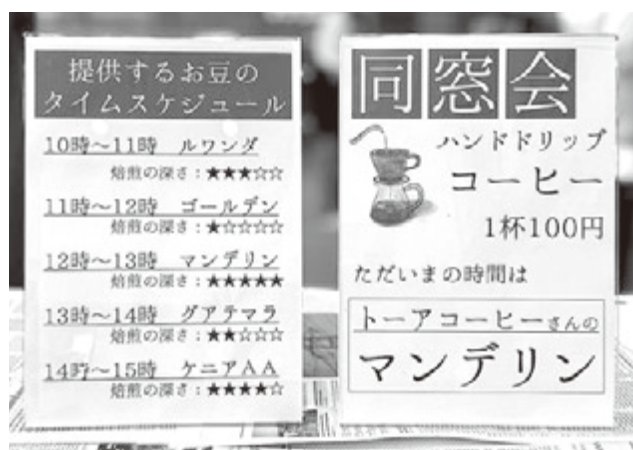
- ・企画の中心を担ってくださったメンバーが「目白学園創立100年目(Hundred)の卒業生」であること
- ・「Hand=手」で淹れたコーヒーの味に「Led=導かれた」メンバーによる企画だということ全員がコーヒーのおいしさに導かれ



おいしそうなコーヒーのできあがり！

てボランティアを申し出てくださったそうです。

店名は「この企画が、来年以降も卒業生たちの企画として続いていくことを願って」つけられました。同窓会として、このような素晴らしい機会に参加させていただき大変光栄でした！コーヒー豆のご提供は、トアコーヒー様、フェルドコーヒー様、珈琲豆の清水屋様。



タイムスケジュール

時間帯に分けて5種類のコーヒーを提供しました。「コーヒーの素材の風味を知っていただきたい」という思いから、お砂糖やミルクはなし、ブラックコーヒーを味わっていただきました。

あっという間に行列が！コーヒー好きの方は各時間帯に訪れてくださり、すべてのお豆の味を制覇する方も！

「1杯100円」という良心的なお値段も、各種コーヒーをブラックで少量ずつ味わっていただくには最適。気軽に立ち寄れるとあって、たくさんのお客さまが並んでくださいました。ハン



お豆を変えるために準備中

ドリップでのおいしい淹れ方を何度も練習したという、同窓生たち。手つきがサマになっていて、お見事でした！風味豊かな香りが、会場の体育館に広がっていました。

ランチタイムに最初にいただいたのは、ゴールデン。酸味がきいており、お食事によく合いました。ランチタイムにぴったりなお豆を選んでいところ、さすがです！

お食事はカフェテリアの『照り焼き丼』をテイクアウトして、お店の側でいただきました。おしゃれなカフェテリアがあっいいな…生徒さんたち！

プリンもいただきました。ボリュームたっぷり甘さは控えめ。硬めのプリンはどこか懐かしさを感じます！

プリンと一緒にいただいたのは、マンデリン。酸味が少なく深みがあり、デザートタイムを堪能することができました。

校内を見学後のコーヒータイムにいただいたのは、グアテマラ。風味のバランスが絶妙で、とても飲みやすかったです。

時間の都合で「ルワンダ」と「ケニア AA」を飲めなかったのが残念…お飲みになった

方に、ご感想をお聞きしたいっ！

長谷先生のお話によると、お豆の種類ごとに楽しんでいただけるように、時間帯によってテイストが変わるように工夫し、浅めの味から提供を開始されたそうです。



あっという間に行列ができました



慣れた手つきでコーヒーをいれていきます

ブラックコーヒーに慣れない方も、コーヒーに詳しい方も、お客さまがそれぞれの楽しみを見つけにお立ち寄りくださいました♪

生徒の皆さま、教職員の皆さまも、ご来店ありがとうございました。

お店は大好評で、コーヒーはすべて完売！初の試みで今年は2日目のみの開店でしたが、来年はぜひ、1日目もおいしいコーヒーを味わってみたいです！

理想の形でこの企画に協力させていただけましたことに、心より感謝申し上げます。



ブラックコーヒーのため量は少なめ



ボリュームたっぷり！



カフェテリアの『照り焼き丼』と『プリン』



相性抜群のプリントマンデリン



長谷先生（2列目左）と同窓生の皆さん

『目白学園の歴史とともに歩んだ同窓生』 創立記念集会にて会長講演

11月6日（水）研心館にて、目白研心中学校・高等学校創立記念集会が行われました。学校から依頼を受け、同窓会の稲葉会長が『目白学園の歴史と共に歩んだ同窓生』と題する20分間の講演を行いました。

中学校・高等学校では、毎年11月11日の創立記念日が近づくと、学園の歴史や創立の意義などを生徒に伝えるために「創立記念集会」を行っています。

本年は、創立101年目に入学した中学1年生と高校1年生が参加しました。

続々と研心館に集まる生徒の皆さん。まだあどけなさが残る中学1年生と、頼もしそうな高校1年生。一堂に会した皆さんを見て、3年間の成長の大きさを実感しました。

開会前に担当の先生から「服装を整えてください」とアナウンスがあり、ネクタイやスカーフを整える皆さんの姿に私たちも気が引き締められました。このような細かい指導が行き届いている学校は、素晴らしいと思います。

斎藤教頭の司会で記念集会が始まり、最初に、中高で制作した「100周年記念映像」（実際の映像はHPにてご覧になれます）を視聴しました。続いて、吉田校長が学園の歴史を紹介しました。また、国際調査において「日本の高校生は自分に自信が持てない生徒が多い」という結果に触れて「自分を信じて、どんなことにもチャレンジしていつてほしい」とお話されました。

会長の講演の冒頭では「皆さん、こんにちは！」との挨拶に、元気に「こんにちは！」と応えてくれた生徒の皆さん。とても爽やかで嬉しい気持ちになりました。

会長は、学園創立時の経緯や創立者の想いなど、時折、近代日本史との関連を交えながら学園のエピソードを紹介しました。多くの方から聞かれる「どうして中学校・高等学校だけに研心という名前が入っているのか」、という事についても第6代理事長である佐藤弘毅先生のご寄稿から、生徒の皆様にお伝えしました。

また、戦時下に卒業された大先輩

の命がけの学園生活について、当時の状況や気持ちなど、ご本人からお聞きしたことを伝え、大先輩から現在の生徒の皆さんに贈る言葉を含めて、学園の100年の歴史のなかで昔から今へと繋いでいくべきことを話しました。

平和な時代に生まれた目白研心の生徒たちと、命の危険と隣り合わせの戦争を体験した目白商業の大先輩。

戦後の混乱期やバブル期、その後の平成不況時代に学園生活を過ごした方々。

時代や年代は違えども、同じ目白学園を卒業した同窓生であることに変わりはありません。

世代の異なる同窓生同士の意見がぴったりと合うことはないですが、お互いの意見に耳を傾けながら尊重し合うことこそが、同窓会においては最も大切なこと。

「目白研心中学校・高等学校の皆さんは、そのことをきちんと理解できる素晴らしい生徒だと思います。3年後、6年後に皆さんが同窓会に入会される日までの大成長を楽しみにしています。」という言葉で講演を締めくくりました。

最後に、学園の歴史とともに今でも歌い継がれている校歌を合唱し、閉会となりました。

20分間、生徒の皆さんはとてもキラキラとした目で真剣に講演を聞いてくださいました。その姿はとても立派で感動しました。同窓生の一人として、母校を誇りに思います。

創立記念集会というとても大切な時間に、同窓会として講演させていただいたことに感謝申し上げます。

ありがとうございました！



会長の講演中、真剣に話を聞く生徒の皆さん



自分を信じてどんなことにもチャレンジして欲しいと挨拶する吉田校長

目白大学 創設 30 周年おめでとうございます！

令和6年9月7日(日)に目白大学同窓会主催の『創設30周年記念 大学同窓生の集い』が開催されました。

ご招待を受けて、中学校・高等学校同窓会から会長が出席させていただきました。

大学同窓会渡辺会長と同期の1期生の皆さまも、今や50代にさしかかろうという年齢になられて、月日が経つのは早いものと実感しております。

お子様と一緒に参加されていた方や同窓生同士でご結婚をされたご夫妻など、たくさんの同窓生が参加されていて、最初から最後まで和気あいあいとした雰囲気でした。

目白大学は1994年(平成6年)に埼玉県岩槻市(現さいたま市岩槻区)に創設されました。

人文学部2学科からスタートし、その後、新宿キャンパスや国立埼玉病院キャンパスに学部および学科が増設され、発展してまいりました。

今年は目白大学が開学して30年目を迎えます。中学校・高等学校と比べ歴史は浅いものの、多くの卒業生を輩出しております。目白学園および目白研心出身の同窓生も開学当初から入学されています。

中高同窓会といたしましても、中学校・高等学校の発展とともに、大学がますます発展されますことを心より願っております。



大学同窓会の渡辺会長(前列右)と役員の方々

目白大学短期大学部「校友会」創設 60 周年 おめでとうございます！

10月20日(日)11時より目白大学短期大学部「校友会」創設60周年記念行事として、井上みほ子氏の講演会が開催され、短期大学の卒業生でもある中高同窓会会長が参加しました。

記念講演会

瑞雲舎代表 井上みほ子氏

「絵本が育てるこどもの心」

～絵本の作り手、伝え手として～

目白大学短期大学部は目白学園女子短期大学が前身であり、1963年に「英語英文科」が創設され、翌年に「国語国文化」と「生活科学科」が増設されました。

その後、様々な改組を経て、現在は「ビジネ

ス社会学科」「製菓学科」「歯科衛生学科」の3学科で構成されています。

短期大学部へは目白学園の中学校・高等学校から最も多くの生徒が進学した学校であり、たくさんの中高同窓生が「校友会」の会員でもあります。

中高同窓会からはお祝いの気持ちを込めまして、記念講演会に目白大学同窓会とご一緒に、生花スタンドを贈らせていただきました。

当日は桐和祭が開催されており、両同窓会の生花スタンドを会場の入り口に飾ってくださいました。並べられたお花は大変華やかでした。

記念講演会は大変素晴らしい内容でした。

子供の頃からたくさんの本に囲まれた環境で育ったという、井上氏。

絵本好きで3人のお子さんをもつ普通の主婦が、絵本の出版社を設立したご主人から会社を引き継ぎ、絵本を作る人生に。そのような宝の人生の始まりは、なんと50歳からだったそうです。

講演では様々な絵本の読み聞かせを通じて、いくつもの大切なことを教えていただきました。

- ・絵本は少しの言葉でたくさんの思いを伝えることができる、素晴らしいものであること。
- ・絵本一冊で「平和を語ること」「次に何が起るかを想像すること」「作り手のメッセージを伝えること」ができること。
- ・一冊の本は愛情や幸せを与える確かなメッセージを残してくれ、家庭を支えてくれること。

とのお話に触れ、瑞雲舎の本の題名にもあります通り、まさしく『絵本は心の処方箋』であると感じました。

また、井上みほ子さんの読み聞かせは本当に

素敵な優しい声をされており、ストーリーに引き込まれていきました。

講演の最後は「しあわせになあれ」という絵本をご紹介いただきました。

弓削田健介さんの詞「しあわせになあれ」の合唱曲に、松成真理子さんの心温まる素敵な絵が、スクリーンいっぱいに映し出されました。

『名前は両親からの最初のプレゼント。あなたのことを私はいつも思っています。』という愛情のこもったメッセージに会場全体が感動の渦に巻き込まれていました。

1時間半という時間を忘れてしまうほど、心に響くものでした。

素晴らしいご講演をありがとうございました。

あらためまして、目白大学短期大学部「校友会」創設60周年、おめでとうございます！



中高の稲葉会長と校友会の矢口会長



講演会場に飾られたお祝いの生花スタンド



講師井上みほ子氏が代表を務める瑞雲舎の絵本



記念講演会の開催日は大学の桐和祭でした

同窓生からのお便り

久しぶりの母校へ

昭和40年卒業 島村 清子(旧姓 竹内)

創立100周年の会報が届いた春頃、親友の米窪照美さん(旧姓大山さん)と「元気であれば秋の桐陽祭に母校に伺いましょう」と約束をしていました。ところがあまりにも



昨年ハワイ旅行に
素敵な思い出になりました

残暑が厳しく躊躇していたのですが、いつまでも健康でいられる自信もないので元気なうちにと思い、昨年の桐陽祭に二人で学校を訪ねました。

40年ぶりの母校です。中井駅もすっかり立派になりましたが、今もあの頃と変わらないのは、通学の途中必ず登らなければならない母校への坂道でした。ハアハアと息を切らしながらも懐かしく歩きました。

やっとのことで母校の正門へ。何度となく歩いた道であり、たどりついた正門ではありましたが、そこから目に入る母校の風景はあの頃とは全く違っていました。母校も大きく発展し、共学になり、校舎も立派に変わっていましたが、心の奥ではやはりどこか懐かしさを感じました。

当日は桐陽祭でしたので、大体育館で同窓会主催の『コーヒーショップ』に立ち寄り、コーヒーをいただき、米窪さんが持参した卒業アルバムを見ながら思い出話に花を咲かせ

ました。

卒業して60年も経つのに、心は青春時代に戻り、寝台列車での九州への修学旅行の様子など、思い出が走馬灯のように浮かんできました。セーラー服の上に着用する白いブレザーも、とてもモダンでした。他の学校がセーラー服よりブレザーが多くなってきたのはこの頃でしたが、あれから何年も経った今でも女子は同じ制服で、どこから見ても一目瞭然で目白学園の生徒とわかり嬉しくなります。

校舎案内のパンフレットを手元に迷いながらも、メインアリーナでの活気あふれるチャリディングの演技を観覧させていただきました。

私たちの時代はチャアではなく、ダンス部が華やかで、クラブ活動で人気がありました。

私の姉も目白学園の卒業生です。姉は目白学園が男子校から女子校となった時の第1期生で、現在93歳になります。今も元気で女学校当時の話を懐かしそうに話してくれます。

何せ80年前の話ですので記憶が定かかどうかは分かりませんが、姉によると佐藤フユ先生のご自宅が校舎の裏にあり、放課後や夏休みによくご自宅に伺ったとのこと。姉は生徒会長をしており、授業なのかクラブ活動なのかははっきりしませんが、『なぎなた』を習ったそうです。時代を感じてしまいます。

同窓会第3代会長の土屋トシ子さんと姉は仲が良く、私も一度横浜の姉宅で現役でバリバリだった頃の土屋さんにお会いしたことがあります。

私自身は卒業後、結婚をして二子玉川に住んでおりましたが、子供が小児ぜんそくになったため、見沼たんぼの残る埼玉県大宮市に転居し、もう40年近くになります。今はさいたま市となり、町の様子もすっかり変わ



国内旅行の時の1枚
(終活で写真はすべて処分してしまい唯一残っていた写真です)

りましたが、自然の風景はまだまだ残っています。

20年前にスクエアダンス（様々なジャンルの軽快な音楽に乗って、8人1組で踊る爽やかなウォーキングダンス）と出会い、これが元気の源と楽しんでいます。コロナ禍の3年半ですっかり体力も落ちてしまいましたが、大切に続けたいと願っています。

今後も健康であれば同窓会にも出席し、懐かしい旧友にもお会いできるのではと楽しみにしております。



50代からの挑戦

昭和54年卒業 加田 菊美（旧姓 上野）

昨年の秋、私に同窓会報に執筆をお願いしたいとの依頼がありました。

私の父は転勤族でしたので、私は転校が多く、別れた友人に手紙を送ることが日課になっていました。そのため文章を書くことには抵抗がなかったので、私で良ければと快諾させていただきました。このような貴重な機会を作ってくださったことに感謝申し上げます。

さて私が目白学園（現目白研心）に入学したきっかけは、セーラー服の上に着る白いブレザーが可愛い!と思ったからです。ですから志望動機の一つは制服で決めたという記憶



自衛官のご主人と（娘さん撮影）

があります（笑）

入学時は13クラスあり、私は11組でした。普通科は12組まで、商業科が13組でした。生徒数が多いため10組からはプレハブ校舎でした。高校2年生から鉄筋の校舎に入ることができました。（現在は新校舎に建て替えられています）目白学園時代は充実していて、あっという間に過ぎて行ったように思います。卒業してから47年になろうとしていますが、当時の同級生たちと時々会って、ランチをしたり出かけたり楽しく過ごしています。

2011年の東日本大震災発生から2ヶ月後、母が脳幹出血で亡くなりました。突然のことに大変ショックは大きく、立ち直れずにいた私を元気づけたくれたのも目白の友人たちでした。本当に感謝をしております。

そしてその東日本大震災が私の人生を変えるきっかけになりました。

当時、テレビをつけると毎日のように震災の悲惨な様子や、連日必死で行方不明者の捜索を続ける自衛隊・消防・警察の姿が写し出されていました。被災地の様子は目を覆いたくなるような壮絶さでした。そのような状態の中、被災者に温かい食事を提供し、自分た

ちは寒そうなトラックの荷台の中で、冷たい缶詰の食事をする自衛官の姿が私の目に飛び込んできました。夫が自衛官で災害派遣として現地に行っていたこともあり、過酷な被災現場の捜索だけでも精神的ダメージは計り知れないのに被災者を支える側の自衛官がこのような状況ではと絶句したことを覚えています。そしてこの方達のメンタルを支える方はいらっしゃるのだろうかと心配にもなりました。この事がきっかけとなり、「いつかこのような方々のメンタルを支える側になりたい」と思うようになりました。

その思いは具体的に、産業カウンセラーの資格を取りたいという目標に変わりました。年齢的にも勉強は大変でしたが猛勉強の末、55歳で産業カウンセラーの資格を得ることができました。産業カウンセラーは企業で働く従業員のメンタルヘルスやキャリアに関する相談を受けたり、サポートをする仕事です。人と向き合い、話に耳を傾け、問題を解決し健やかに業務が行えるように支援するのが役目です。

資格取得後、様々な選択がある中、最初の自衛官のカウンセラーになりたいとの想いが変わらず、新たな目標を決めました。目標を達成するために私がまず実行したのは、夢を達成している方々がよくやっている手法、『文字にする』という方法です。手帳に「自衛官のカウンセラーになる！必ず実現させる！」

と書くことです。そうすることでおのずから目標に向かって何をすれば良いのかが明確になってきます。

あとは運やタイミングもあるかもしれませんが、私の場合はインターネットで偶然目にした【航空自衛隊横田基地部外カウンセラー募集】の文字でした。早速応募しご縁をいただき、現在、横田基地でカウンセラーの仕事の続け、早8年になります。

私は自衛隊とは縁があります。娘が1歳の時に離婚をし、実家で両親と暮らしていましたが、テレビでイラクへ派遣される自衛官のニュースを見てふと「自衛官と結婚したい」と思ったことがありました。また「娘が小学校6年生の運動会の時には家族でお弁当と一緒に食べたい」という夢もありました。

その2つの思いが、これまた現実のものとなり、自衛官の夫と出会い、再婚をして家族3人になり早いもので20年になろうとしています。

仕事もプライベートも運と決断とタイミングと、そうなりたいとの想いで実現できてきたこと。何事も若くなければダメという事はなく、幾つになっても挑戦できること。今そのように感じています。

日々の生活を当たり前と思わず、亡き母の口癖だった『情けは人の為ならず』精神で今後の人生も駆け抜けていけたらと思っております。



1年11組の同級生（筆者は後列右）



3年6組の同級生（右側真ん中が筆者）



研心ミニレター

(昨年のはがきひとことより)

※一昨年(令和5年度)のはがきからの抜粋のため
時期的状況が現在と異なる場合があります

●昭和20年卒業

M・Y

卒業後、数々の出来事があったが、既に78年の年月が流れているが、忘却の彼方となり感慨無量である。

●昭和29年卒業

R・S

同窓会を支えて下さる職員の皆様ありがとうございます。私も年と共にあちらこちらと弱くなっています。でも元気に買い物に行っています。では次回を楽しみにしております。

●昭和30年卒業

Y・k

いつも会報ありがとうございます。年を重ねますと目白で学び数々の事が思い出されます。遠い遠い昔となりました。なんとか頑張っています。。。発展向上を祈っております。

●昭和32年卒業

E・N

目白学園は中学・高校と6年間通い楽しい毎日でした。中学は10人くらいの生徒でいつでも10番以内、広々庭園、松林と懐かしく感じます。益々のご発展お祈りいたします。いつも有難うございます。

●昭和34年卒業

T・K

幹事の皆様、毎年お便りありがとうございます。卒業して6年、仲良し5人組皆元気に今年も西武新宿プリンスホテルでコロナで3年振りのランチを学生時代の話に花が咲き時間を忘れおしゃべりを、楽しい一時を過ごしました。

●昭和34年卒業

K・S

会報をお送りいただき有難うございます。会報を拝見しながら、円形校舎で学んだ3年間で懐かしく思い出しています。当時学んだ友と時々電話で連絡を取り合っています。

●昭和35年卒業

E・T

いつも会報をお送り下さいまして有難うございます。毎号楽しく拝読させて頂いております。私も80才を過ぎ、まだ元気には暮らしておりますが遠くまで出かける気にはなれず、日々の生活を楽しくしております。皆様お元気で!

●昭和35年卒業

K・T

素晴らしい同窓会会報をありがとうございます。現在の発展した目白学園を知ることができました。門からの入り口とても懐かしかったです。

●昭和36年卒業

M・Y

昭和36年目白学園商業科を卒業して65年にもなりました。80歳を過ぎてもまだ現役で訪問介護員として皆様のお世話をさせていただいています。もう少し頑張っていきたいと思っています。

●昭和 37 年卒業

K・F

いつもご通知有難うございます。二人の娘から孫5人、私は80歳になりました。テニス、卓球と元気に動いています。

●昭和 37 年卒業

Y・T

役員の皆様いつもご苦勞様です。又、有難うございます。80歳の声を聞くと体のどこかが悪くなりこの暑さがこたえますね。毎日の散歩を楽しみに、又よそのお宅のお庭を見るのも季節を感じるのも楽しみのひとつです。元気で頑張りますよ。

●昭和 37 年卒業

M・Y

今年6月で80歳になりましたが、週1回の体操と今だに夫と2人分の家事、元気にしており今を楽しく生きております。ボケず、ケガせず、がモットー！こんな私がよく生きていると感謝と共に迎えも待っております。

●昭和 38 年卒業

M・H

毎日スポーツジムに通い健康を保っています。まだまだ元気になっています。もうすぐ79才になろうとしていますが、何と何と20才は若く見られ元気元気です。

●昭和 39 年卒業

M・S

月日の経つのは早いもので卒業して60年が経ちます。中学入学から6年間中井駅から坂を登り目白学園に通った日々が今でも懐かしく思い出します。今は主人と二人で健康で過ごしています。歳ですが脚、腰強く毎日散歩して主人と頑張っています。目白研心高等学校の発展を心よりお祈りします。

●昭和 39 年卒業

Y・M

老夫婦二人の生活となって20年、会報を見ていると広い校庭、懐かしい円型校舎で学び私達が在学中に短大ができ、白いブレザーが取り入れられた時代だったので懐かしかったです。

●昭和 40 年卒業

K・K

お世話様になっております。同窓会会報、楽しく拝読致しました。益々のご発展心よりお祈り申し上げます。

●昭和 40 年卒業

K・O

いつも有難うございます。目白学園時代を、若き時代を…懐かしく思い出しています。今年77才になりますが、口だけは達者です(笑)我々の頃は目白学園でした。会報を見ながら若き頃を思い出してます。役員の方々感謝致します。

●昭和 40 年卒業

S・T

前略、会報楽しく見せていただきました。それに香川先生お元気で何よりです。会いたいですね。

●昭和 41 年卒業

M・T

会報をありがとうございます。白いジャケット目立ち嬉しくておしゃれでした。思い出します。あの頃を…。

●昭和 41 年卒業

K・Y

いつもお知らせ有難うございます。とても懐かしく、そして嬉しく会報を読ませていただきました。これからも発展を心よりお祈りしています。

●昭和41年卒業

S・O

いつもお知らせ有難うございます。子供2人男、結婚もせず家からも出ず私が毎日おさんどんしています。いい加減出てほしい！いつまで年寄りをこき使うのでしょうか。こぼし話より。皆様、暑いのでお体大切に。

●昭和42年卒業

S・A

昭和23年生まれ、女子校が共学になり。その頃の私達にしてはうらやましいです。今も同級生数人とお友達、楽しんでいます。

●昭和41年卒業

H・A

中学1年の時から弁論大会、劇、運動会、全校あげての大掃除、毎朝校門の両側に立って挨拶をしていた委員の方々、廊下に張り出された成績表、九州一周の修学旅行、他にも沢山の懐かしい思い出ある6年間でした。在校生の方々にも素晴らしい青春の思い出を作っていってほしいです。

●昭和42年卒業

E・M

昨年住所を登録しまして始めて会報を頂きました。写真を拝見して懐かしく、高校時代を思い出しています。目白学園高等学校の名称変更がちょっと淋しい気持ちがありますが、これからのご発展をお祈り致します。

●昭和41年卒業

M・N

いつも会報を送って頂きとても懐かしく学校の発展を心より嬉しく存じます。男女共学になり女子の制服にあまり変わらないのが又嬉しい限りです。もう60年近く前のことになりますね。

●昭和43年卒業

M・Y

私、主人を亡くしてから23年、今は孫（22、20、14、4）がいます。私も健康の為、フィットネス（カーブス）に通って犬と毎日老後を過ごしています。

●昭和41年卒業

M・K

10年に及ぶ海外生活を終え子供達もそれぞれ独立、今は夫婦2人で老後の生活を楽しんでおります。イラク、英国、ドイツと本当に楽しい素晴らしい経験をさせて頂き語学の苦手だった私の最高の思い出！今は年に一度の訪欧を楽しんでいます。

●昭和43年卒業

H・M

会報送って下さり有難うございます。円形校舎は高2年の時に学びましたし、中井駅は毎日通いました。本当に懐かしく思いました。益々のご発展をお祈り申し上げます。

●昭和41年卒業

A・S

S41卒業商業科でした。現在75才ですが68才から週2～3回働いています。いつまでも社会に参加しつつ元気をもらっています。

●昭和43年卒業

Y・H

主人と二人できりで毎日お互いに自分の趣味で楽しんでいます。この先も健康で過ごせたら良いと思います。皆様ご苦勞様です。

●昭和44年卒業

R・K

役員の皆様本当にご苦勞様です。カナリヤ5匹インコ1匹、5才下の夫とまだまだ負けじと日々奮闘しています。72才これからもテニスに頑張りますヨ。懐かしい限りの目白学園時代でした。

●昭和48年卒業

M・O

ミニレターで懐かしい名前を二人も発見！皆、会えなくても一緒に歳を重ねているのだなあ、と新たに元気をもらいました。ありがとうございます。

●昭和44年卒業

M・Y

会報有難うございます。香川先生のお言葉、懐かしく拝読致しました。学校では規則が厳しかったけれど今では楽しかった事ばかり思い出します。

●昭和50年卒業

N・Y

永年勤めた幼稚園を退職し、主人と長野県に移住しました。こちらは山々が美しく食べ物も美味しいです。畑で作物を育てのんびりと暮らしたいと思っています。

●昭和45年卒業

K・N

70才代になり世の中も変化がめまぐるしく驚くばかりですがなんとか生きております。

●昭和50年卒業

K・S

会報有難うございます。卒業してからもずっと仲良くしている友とLINEしたり電話したりとおしゃべりしています。お互い色々なことはあったけれどこうして話ができること、とても幸せだと思っています。皆様もどうぞお元氣でお過ごしください。

●昭和47年卒業

S・S

知人のお孫さんが高校に入学されているそうで時々行事の様子を聞かせていただき懐かしくなります。

●昭和50年卒業

K・H

2021年12月に43年連れ添った主人が他界しました。余命宣告されていたのですが現実にはなかなか納得することができず…でも前を向いて人生謳歌するつもりで頑張りたいと思っています。

●昭和48年卒業

K・O

毎年同窓会の葉書が届くたびまた一年無事に過ごせたと感じます。70才を前にして日々健康で過ごせている事に感謝の心持しております。同窓会役員の皆様も健康に気をつけてお過ごしください。

●昭和51年卒業

K・Y

香川先生お久しぶりでございます。3年間14組でお世話になりました。先生のお歳82歳お元氣で何よりです。私、51年卒業生も65歳になりました。いつまでもお元氣でいて下さい。

●昭和48年卒業

S・O

お世話になります。大きな病気を体験して3年、世の中をゆっくりと観ております。昔はよかった、ではなく日本はすごい早さで変化していく日々を楽しんでいます。

●昭和54年卒業

E・M

歴代校長挨拶の中の香川雅則先生の欄を見つけ、とても懐かしくなりました。病気に負けないで長生きしてください。

●昭和54年卒業

Y・H

会報有難うございました。45年タイムスリップしてあの頃の教室の様子が目の前に映し出される感覚です。休み時間になるとピアノを囲んで楽しそうに歌っている。心地よい空間…。好きでしたね。皆、お身体大切に、お元気でいてくださいね。

●昭和55年卒業

N・I

卒業して早40年を過ぎ、高校生活が懐かしい感じです。当時の友人と話をするとすっかり気分は高校生になります。今回は目白学園の歴史を知る事が出来ました。とても良い企画でした。

●昭和55年卒業

Y・S

昨年は母の米寿のお祝い！今年は姪の結婚式と私達の真珠婚祝い！来年は母の卒寿の祝い…とお祝い続き。年を重ねる喜びかな？皆様のご多幸、ご健勝をお祈り致します。いつもありがとうございます。

●昭和56年卒業

M・M

男女共学になってもあのセーラー服と白いブレザーは健在でとても嬉しいです。コロナ禍、オンラインでヨガを始め還暦を迎えても益々元気です。

●昭和57年卒業

N・I

年に数回集まって6人でプチ同窓会をやります。そして、今年はずいぶん還暦を迎えます。まさかこんな日が来るなんて、と、学生時代の楽しい思い出を語り、とにかく健康第一でまだまだ頑張りましょう！と話しています。

●昭和61年卒業

Y・F

今年4月から私立の中高で物理の教員をしている三男が昨年は目白の理科教員の募集がなくて残念と話していたのを思い出しました。ご縁があったら良かったのに、と懐かしい思いでいっぱいです。

●昭和61年卒業

M・D

早いものでオーストラリア在住26年になりました。長女は22才、次女は18才で私も年齢を重ねているはずですが気分は30代で毎日過ごしております。同窓会に合わせて日本に行きたいと常々思っております。その際は宜しくお願いします。

●平成6年卒業

F・F

今年になり高校の友人と久し振りに会い当時の担任の先生が亡くなられたと知りました。来年は卒業して30年なのでより多くの同級生と会いたいと思いました。

●平成8年卒業

A・N

現在も高校時代の友達と会い目白学園の思い出が懐かしく甦ります。上の子供が中学3年生になり今後も仕事、子育てに励み新たな趣味を見つけ充実した40代後半を迎えたいと思っています。

●平成21年卒業

H・E

4月に新卒から約10年続けた会社を辞め子供との時間を優先する為パートに転職しました。慣れない仕事や保育園の洗礼を受け体調を崩しがちな娘との新生活は大変ですが、仲の良い目白生たちとのLINEで息抜きさせてもらっています。

●平成22年卒業

A・K

今の職場で目白のOGと偶然出会いました。頂いたお知らせや時々HP等を見て今はこうなんだ…とか、これ懐かしい…など盛り上がっています。

●平成25年卒業

D・T

目白研心の男子生徒の人数が年々増えている事を知りOBの1人として大変嬉しく思います。それに伴い学校全体の生徒数も年々右肩上がりです。ここ数年はコロナで母校へ足を運べていなかったのが今年は足を運んでみたいと思います。私も30歳を迎える年になったのでより一層頑張って仕事に励みます。

●令和3年卒業

K・O

大学3年生になり来年の本選考に向かってインターンシップに励んでいます。大学生活も楽しみながら就職活動も頑張っています。

●令和5年卒業

K・N

大学に入学し、毎日楽しい学生生活を送っています。沢山の素敵な友達に出会うことができ、幸せに毎日過ごしています。



同窓会総会のはがきのひとこと欄にたくさんのコメントをいただき有難うございました。懐かしい思い出、近況報告、これからの学校の発展を願うお気持ち等、みなさまからのお便り心から感謝致します。

また、多くの方々に楽しみにご覧いただいております。

今回同封のはがきで、どうぞ皆様の近況をお知らせください。

お待ちしております。

9月に桐陽祭(文化祭)が開催される予定です。HPをご覧の上、是非お越しください。

HP: <https://mejiro-towa-festival.com/>



卒業生子女入学金優遇制度

目白研心中学校・高等学校同窓生のお子様や兄弟姉妹が、目白学園に設置する学校（目白研心中学校・高等学校、目白大学、目白大学短期大学部、目白大学大学院）に入学される場合、**入学金が全額免除になります！** 詳しくは下記入試窓口までお問い合わせ下さい。

（ただし目白学園幼稚園卒園生は対象外です）



▶大学、大学院、短期大学部の入試について

目白大学入学センター

TEL : 03-3952-5115

MAIL : colkoho@mejiro.ac.jp

▶中学校、高等学校の入試について

目白研心中学校・高等学校 広報部

TEL : 03-5996-3133

MAIL : jhkoho@mejiro.ac.jp

目白研心中学校・高等学校にお子様の入学をお考えの方へ

学校説明会等の日程は、目白研心中学校・高等学校のホームページからご確認ください。



2026年度入試 学校説明会日程

中学校

- 第1回 5/24(土) 10:30
- 第2回 6/14(土) 14:00
- 第3回 8/30(土) 10:30
- 第4回 10/4(土) 14:00
- 第5回 11/1(土) 14:00
- 第6回 1/10(土) 10:30

<イベント>

- オープンキャンパス 7/12(土)10:30
- 放課後見学会 11/13(木)16:00
- 入試体験会 12/13(土)13:30

高等学校

- 第1回 7/26(土) 14:00
- 第2回 8/30(土) 14:00
- 第3回 9/27(土) 14:00
- 第4回 10/25(土) 14:00
- 第5回 11/15(土) 14:00
- 第6回 11/29(土) 14:00
- 第7回 12/6(土) 14:00

桐陽祭

9/13(土)・9/14(日) 9:00～14:00 ミニ説明会を実施予定

いずれも要予約 詳しくは本校ホームページをご覧ください



目白研心 中学校
高等学校

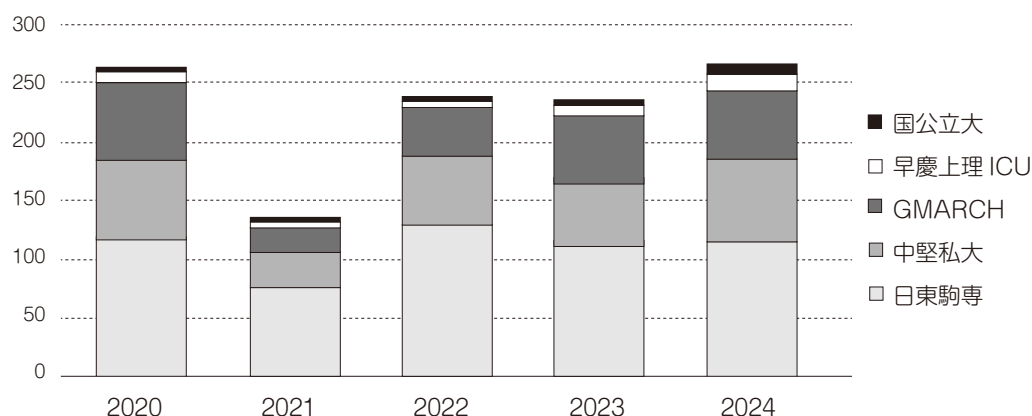


〒161-8522 東京都新宿区中落合4-31-1
TEL 03-5996-3133 (広報部)

2024年度 進路状況

進路指導部主任 齋藤 誠

■過去5カ年の合格実績（国公立～日東駒専まで）



	2020	2021	2022	2023	2024
国公立大	3	5	5	4	8
早慶上理ICU	9	4	7	9	16
GMARCH	68	21	40	55	59
中堅私大	67	31	61	56	69
日東駒専	116	75	126	111	115

※ 2024年度国公立大学合格校：茨城大(2)、岩手大、高知大、東京海洋大、東京学芸大、会津大、長野大

※中堅私立大学：成蹊大、成城大、明治学院大、獨協大、國學院大、武蔵大

■合格大学群と実数

早慶上理ICU		GMARCH		中堅私大		日東駒専	
早稲田大学	7	学習院大学	6	成蹊大学	16	日本大学	56
慶應義塾大学	2	明治大学	11	成城大学	11	東洋大学	34
上智大学	4	青山学院大学	11	明治学院大学	7	駒澤大学	12
東京理科大学	2	立教大学	10	獨協大学	14	専修大学	13
国際基督教大学 (ICU)	1	中央大学	7	國學院大學	9	—	—
—	—	法政大学	14	武蔵大学	12	—	—
計	16	計	59	計	69	計	115

■総括

今年度から新課程での大学入試がスタートしました。これに合わせる形で学部・学科の改組や入試方式・科目の変更などの動きが加速した年でした。また、昨年度までの減少から一転、18歳人口の増加に伴い難関校を中心とした首都圏の多くの大学で志願者数が増加したようです。このような背景の中でも本校の昨年度高3生は一昨年度に引き続き大変よく健闘してくれました。とくに、早慶上理ICUの合格数は過去最多の値となっています。納得のいく進路実現をした生徒に共通する特徴として「早期に情報収集し行動に移すことができた」ことが挙げられます。これは多様化する大学入試においてこれからも重要になります。

今年度も様々な学校行事が実施される予定です。卒業生による在校生に向けた進路講演会等も予定されていますので、みなさまにご協力いただけたら幸いです。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

研心トピックス

2 人が繋いだ野球部の躍進

甲子園といえば、高校球児たちなら誰もが憧れる夢の舞台です。そんな夢の舞台へと繋がる東東京大会で、母校の硬式野球部が健闘を見せたことをご存知でしょうか。

昨年7月に行われた第106回全国高等学校野球選手権大会 東東京大会において、目白研心の硬式野球部は3回戦突破という見事な活躍ぶりでした。

着実な成長を見せる野球部ですが、ここに至るまでには、様々な困難を乗り越え、たゆまぬ努力を積み重ねてきた過去がありました。

目白研心高等学校野球部は2009年(平成21年)に新設された歴史の浅い部活動ですが、古くは目白商業時代、野球部が大活躍していました。現在の「全国高等学校野球選手権大会」が「全国中等学校優勝野球大会」だった頃の事です。当時を知る大先輩は、「目白は早稲田実、日大三中と並ぶ3強と言われたほどの強豪校だった」と語られている程名門だったそうです。実際1937年(昭和12年)の東京大会決勝戦ではあと一步というところで慶応商工に敗退し準優勝に。

ただ昭和16年から昭和20年までは戦争のため大会が行われず、戦後再開された時は目白学園は女子校へと転身しており野球部がなくなった時代もありました。

かつての勢いをご存知の同窓会の大先輩は、共学化により復活した目白研心高等学校野球部の活躍を大変喜び、応援されています。

次のページの読売新聞の記事にもある通り、創部当時11人集まった部員は、「本気で

野球をやる」という方針についていけず、半年足らずで9人が退部してしまいました。

残ったたった2名の部員は、元甲子園球児である鈴木淳史監督のもと、不撓不屈の精神で日々練習を重ねていきました。新入生も入れてなんとか9名が揃い、野球部は着実に実力をつけていきました。それに伴い、部員も増え、活気も出てきて、昨年の健闘結果となりました。今年も活躍が期待されます。

高校生が野球部で活動できるのは受験期間も含むと2年半しかありません。限りある時間の中で今では大所帯となった野球部の生徒たちは、毎日厳しい練習に励んでいます。

グラウンドで練習中に通りかかると、元気な声で「こんにちは！」と挨拶をしてくれるとても礼儀正しい部員の皆さん、その精神は目白商業時代と変わらず、今に受け継がれています。

目標を高く掲げ頑張る野球部員。

そんな目白の後輩達を私たちは応援していきたいと思います！



【高校野球部】

高校野球部顧問
鈴木 淳史

野球部は2009年の学校共学化と同時に創部しました。

1期生は部員2人のみ。練習試合もすることのできない期間が続きましたが、創部から3年目の2011年の夏、他クラブからの助っ人を加えてメンバー9名がなんとか揃い、創部から2年3ヶ月かかり大会に初出場することができました。

1期生2人の高校野球にひたむきに取り組む姿勢と、野球部を応援し続けて下さるたくさんの方々の想いが、目白研心高校野球部の礎となっています。

現在では各学年15名前後の部員が在籍し

ています。

人数は増えてきましたが、16年前の1期生たちと変わらぬ熱い想いで現役部員たちも日々活動しています。

また、卒業生の中には、大学や社会人野球の世界で硬式野球を続け、プロ野球選手を本気で目指して奮闘している者もいます。

最近では、野球部の活動を通じて学校や地域社会に貢献することができればとの想いから、学校内の奉仕活動や地元中井の方々と共同でのボランティア活動なども積極的に行っています。

私たちの活動が多くの方々のおかげで成り立っていることに感謝し、生徒たちの成長した姿をお見せすることで皆さまに恩返しができるようこれからも精進して参ります。



初出場の目白研心。2009年に女子校から共学化し、1期生として入学した増田拓也主将(3年)にとって、最初で最後の夏は短かった。



創部当時、11人集まった部員は、「本気で野球をやる」という方針についていけず、半年で9人が去った。残った長沼研二(主将(3年))と二人だけの練習が続いた。キャッチボールとトスバティングにノック。学校のウサギ小屋の近くで、黙々とバットを振った。

創部コンビ 最初で最後の夏

今年4月、新入生4人が入部。弓道部事務の3年生2人と2年生を含め、9人がそろった。ユニホームは一週間前にできあがった。

試合は結局五回コールドで敗れたが、鈴木淳史監督(29)は、二人がいたからグラウンドに立てた。最高の試合だった」と目を赤くした。

「応援に応えられず、やっぱり悔しい」と二人。でも、「勉強に疲れたら、また練習に顔を出したいね」と話す二人の顔には、達成感がにじんでいた。

(平山一有)



2011年7月12日読売新聞(都民版)に7月11日、選手権大会初出場のインタビュー記事が掲載されました。

■ インフォメーション

桐 陽 祭

日 程

2025年9月13日(土)・14日(日)

9:00～14:00

■退職された先生方

吹田 克也 教諭(国語科)

林 康介 教諭(社会科)

高橋 智子 教諭(理科)

榎本 葵 教諭(体育科)

森岡 浩希 教諭(英語科)

Zerro Caitlin〈ゼロ ケイトリン〉教諭(英語科)

★会報をご覧になった方々から「学校の様子が分かりました」「素晴らしい発展ですね」「役員の皆様ありがとうございます」など嬉しいお言葉をいただいております。皆様の励ましにより、役員一同、元気をいただいております。今後もより充実した会報の発行を目指して頑張ってまいります。

★今年の桐陽祭は上記の通りです。「ハンドレッドコーヒー」は本年も出店予定です。皆様、ぜひお越しください。

★同封の「承認はがき」に必要事項をご記入のうえ、ご返送くださる際に「会報の感想」や「近況」をお知らせいただけますと幸いです。お便りの中から、抜粋したコメントを次回以降の「研心ミニレター」にてご紹介させていただきます。このコーナーを楽しみになさっている方も多く、コーナーを通じて久々の交流が始まった方もおられます。皆様からの近況報告をお待ちしております。

★ホームページに掲載している「学園の歴史」「同窓会の歩み」とともに、中学高等学校のご協力で「研心 Movie」のアイコンが加わりました。現在の中高の様子が動画で分かります。発展した学園の様子をどうぞご覧ください。

■ 編集後記

目白学園を卒業してから随分経ちますが、目白学園での友人とは今だに親交が続いており、会えば学生時代に戻ったかのような雰囲気になります。また、通勤途中で目白研心の制服を来た生徒さんを見かけます。以前に比べてよく見かけるようになりました。身近に後輩たちがいることを嬉しく思います。

今もこうして同窓会の仕事を通じて母校に携わる貴重な機会をいただいております。私自身の思い出の中で、目白学園で過ごした時間が1番思い出深いです。皆さまにとっても、本校がかけがえのない存在でありますことを願っています。

浜口 瞳

2022年度に卒業いたしました。

今年の春から大学3年生となります。

私たちの代は、高校3年間すべて、コロナ禍の中で高校生活を過ごしました。今まで当たり前であった学校行事や部活、授業などが全て今まで通りとはいきませんでした。

ですが、今までの生活が当たり前ではないと気づいた高校3年間でした。そして自分のいる環境や周りの家族、友達、先生方に感謝をし、自ら楽しいことを見つけて、毎日、勉強に部活に、真っ直ぐに向き合えることが出来た日々だったと思います。

そんな私も今年成人式を迎えました。

目白研心での学園生活では、困難と向き合い、その中で楽しみを見いだしていく事を学びました。これからも夢に向かって様々なことにチャレンジをし、大学生活も楽しみながら日々過ごしていきたいと思います！

宇佐美 遥花

目白研心中学校・高等学校同窓会 令和7年度 同窓会会報 新版第3号 (通号34号)

発行日：令和7年7月10日

発行：目白研心中学校・高等学校同窓会

住所：〒161-8522

東京都新宿区中落合4-31-1

電話：03-5996-3131

FAX：03-5996-3066

※本書を無許可で転写複製することを禁じます。

印刷：株式会社 愛甲社